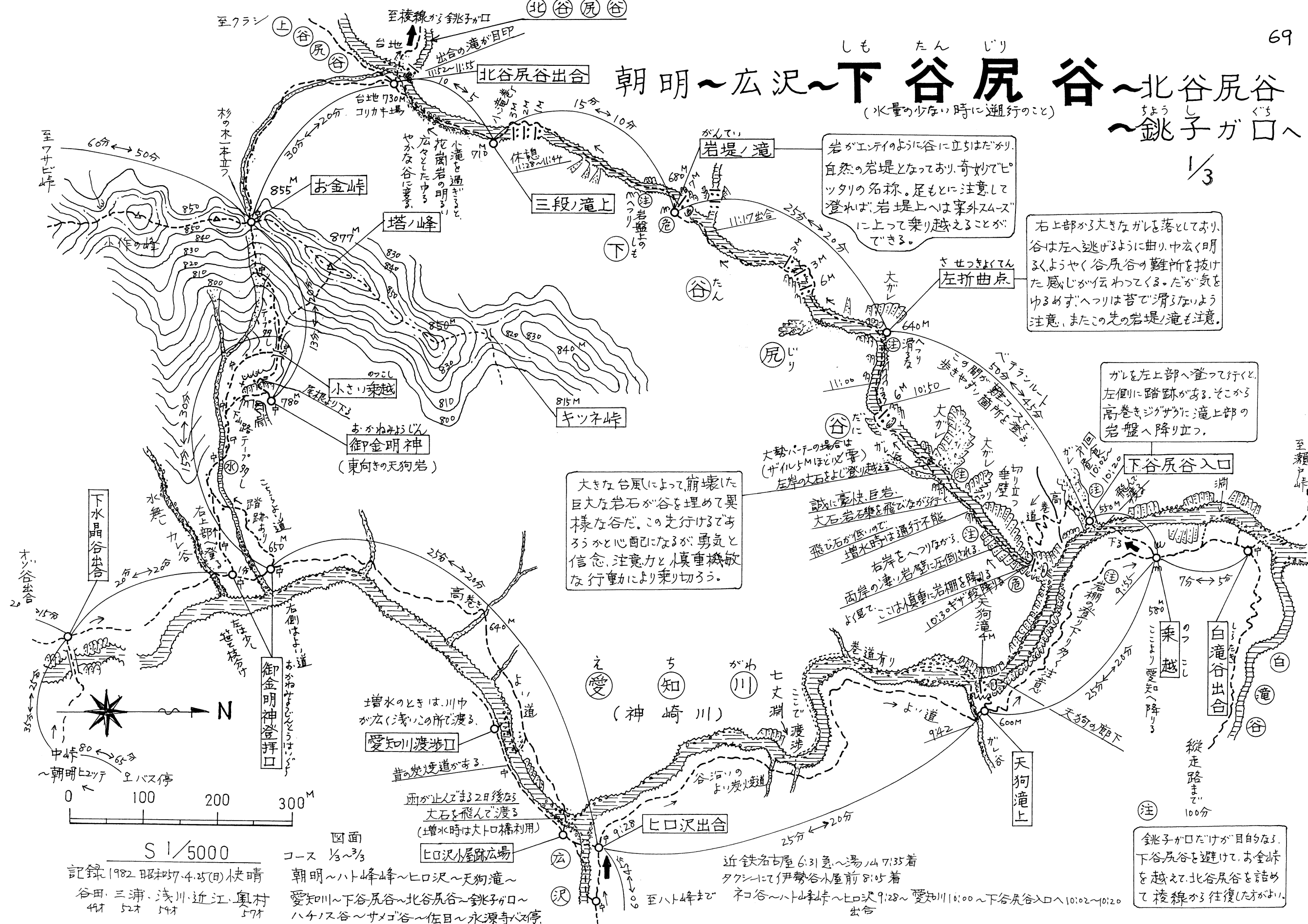


朝明～広沢～下谷尻谷～北谷尻谷 ～銚子ガ口へ

(水量の少ない時に通行のこと)

1/3



岩がエッセイのように谷に立ち並ぶ。自然の岩堤となっており、奇妙でピットリッの名所。足もとに注意して登れば、岩堤上へは案外スムーズに上って乗り越えることができる。

右上部から大きなガレを落としており、谷は左へ逃げるように曲り、中々明るく、よく谷尻谷の難所を抜けた感じが云々。だが気をゆるめず、へつりは苔で滑らないよう注意。またこの先の岩堤ノ滝も注意。

ガレを左上部へ登って行く。左側に踏跡がある。そこから高巻きジグザグに滝上部の岩盤へ降り立つ。

大きな台風によって崩壊した巨大な岩石が谷を埋めて異様な谷だ。この先行けるであろうかと心配になるが、勇気と信念、注意力と小まな機械的な行軍により乗り切ろう。

誠に豪快、巨岩。大石、岩石、飛ぶな。通行不能。飛ぶ石が低いので、増水時は通行不能。右岸をへつりながら、兩岸の凄惨な岩壁に降り立つ。よ見て、ここは真真正正に岩棚と降り立つ。10:30ギザギザ降る。天狗滝上。巻道有り。よい道。9:42。600M。天狗滝下。縦走路まで100分。

銚子ガ口は「けが」が目印。下谷尻谷を避けて、お金峠を越えて、北谷尻谷を詰めて、稜線から往復した方がよい。

記録 1982 昭和57.4.25(日) 快晴
谷田 三浦 浅川 近江 奥村
49才 52才 54才 57才

四画
コース 1/3～3/3
朝明～ハト峰～ヒロ沢～天狗滝～
愛知川～下谷尻谷～北谷尻谷～銚子ガ口～
ハチノス谷～サメゴ谷～佐目～永源寺バス停

近鉄名古屋6:31急～湯ノ山7:35着
タクシーにて伊勢谷小屋前8:15着
ネコ谷～ハト峰峠～ヒロ沢9:28～愛知川10:00～下谷尻谷入口へ10:02～10:20
出合
至ハト峰まで
至ハト峰まで